

平成26年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成27年 4月10日

研究・研修課題名	災害派遣医療チーム (DMAT) 研修 (厚生労働省)
研究・研修組織名 (所属)	災害対策ワーキンググループ
研究・研修責任者名 (所属)	整形外科 教授 内尾 祐司
共同研究・研修者名 (所属)	内分泌代謝内科 助教 守田 美和

目的及び方法、成果の内容

①目 的

本院では、災害救助法及び政令等に基づく「災害救助災害派遣要項」を定め、島根県知事の要請又は学長及び附属病院長の決定による医療救援活動隊として救護班(6班)を組織しており、本研修受講は、各種災害発生時に機動性をもった災害派遣医療チームの体制の確保を目的とする。

②方 法

厚生労働省が兵庫県災害医療センターで実施された、平成26年度災害派遣医療チーム(DMAT)研修に、医師 1名が個人枠で参加した。

③成 果

平成17年度から受講しているが、参加者からは DMAT の必要性と責務を痛感したとの報告がなされている。また、平成22年4月1日から島根県との島根DMAT の派遣に関する協定を交わし、島根大学医学部附属病院DMAT は島根県の要請により救命活動を行うこととなっている。

現在、職員の異動により、DMAT 登録隊員は、医師 1名、看護師4名、調整員(薬剤師)2名であり、1チーム(医師 1名、看護師 2名、調整員 1名)が編成されているが、災害発生時の緊急出動(48時間以内)の対応には、不測の事態に備え、もう1チーム編成する必要があった。

平成27年1月21日(水)から1月24日(土)までの4日間、兵庫県災害医療センターで行われた「平成26年度災害派遣医療チーム (DMAT) 研修 (西会場第9回)」に守田美和医師が参加して、筆記、実技の両試験に合格し研修を修了することができ本院の DMAT の医師の一人として登録された。これにより本院の DMAT は2チーム編成が可能となりより多くの出動要請に応えられることとなった。